

第 二 號

一八六九年（明治二年）三月

七十二歲老嫗

1

此^{これ}からは往還道^{おうかんみち}を付け掛^つける 世界^{せかい}の心^{こころ}皆勇^{みな}めるで

今後要開闢一條康莊大道，世人的心都會躍踴
起來。

2

上^{かみ}たるは心^{こころ}勇^いんで来^くる程^{ほど}に 何時^{なんどき}に来^くる刻限^{こくげん}が来^きた

上位者的心也將要躍踴起來。會在什麼時候
呢？時限已經來臨了。

3

ちゃつ^{ちやつ}あとか^{あと か}と^と茶摘んで後刈り取りてしもたなら あと^{あと}で^で後い出るのはようき^{ようき}づと^{づと}や^や陽気勤め哉

茶葉摘完、收割完後，緊接著而來的就是康樂
聖舞呀。

4

このつと^{このつと}どこ^{どこ}く^くおも^{おも}此勤め何処から来ると思うかな かみ^{かみ}ところいさ^{ところいさ}く^くや^や上たる処勇み来るぞ哉

這聖舞你們想是從何而來？是要讓處在上位的
人也踴躍起來呀。

5

だんだん かみ しゅごう ゆ
段々と神の守護と言うものは めずら こと みな しか
珍し事を皆仕掛けるで

神的祐護會漸漸顯現出來，所有珍奇之事都要去著手。

6

にちにち かみ ところ せ こ
日々に神の心の急き込みを みな いちれつ なん おも
皆一列は何と思てる

神的心每日都感到著急，對此世人是怎麼想的呢？

7

なに^なにても^{やまい}病^{いた}痛^みは^{さら}更に^な無し^{かみ}神^せの^こ急^{てび}き^や込^み手^ひ引^きなるぞ哉

什麼樣的病或痛其實都不存在，是神急著要指引你們呀。

8

せ^こ急^なき^{ゆえ}込^なみ^ゆも^ゆ何^ゆ故^なら^ばと^{つと}言^{にん}う^じな^うら^ほば^こ勤^めの^{にん}人^じ衆^う欲^ほしい^こ事^とから

話說爲什麼要著急，是因爲需要奉行聖舞人員。

9

此^{この}勤^{つと}め何^{なん}の事^{こと}やと思^{おも}ている 万^{よろず}救^{たす}けの模^も様^{よう}ばかりを

這聖舞你們認爲是什麼呢？是要爲萬般拯救作準備。

10

此^{この}救^{たす}け今^{いま}ばかりとは思^{おも}うなよ 此^{これ}末^{まつ}代^{だい}の口^{こう}記^きなるぞ哉^や

這拯救不要以爲只是現在而已，是要成爲世世代代永留傳的口記呀。

11

一寸ちよと はなし のぼ話逆上せかんできゆ言っている 病やまいでは無ない神かみの急せき込こみ

說一件事情：一時的興奮或是易怒，這些都不是生病，是神在焦慮。

12

段々だんだんと真実神しんじつかみの一条いちじょうをと說きいて聞かせど未まだ分わかり無ない

一點一點把如何全心為神付出的真實道理說給你們聽，但你們還是不明白。

13

はやばや おもて で おも みち の で で
早々と表出ようと思えども 道が無うては出るに出られん

雖然早就想要出現到人世間來，但因為沒有途徑，想來也沒有辦法來。

14

このみち はや つ おも ほか とこ つ とこ な
此道を早く付けよと思えども 他なる処で付ける処無し

早就想開闢這條道路，但除此地之外沒有其他地方能夠開闢。

15

このみち しんじつおも こと むね うち よろず しゃん
此道を真実思う事ならば 胸の内より万思案せ

如果相信這是一條真實之道的話，就用自己的
內心去思考一切吧。

16

このはなしなん こと おも かみ う わ ばしよ せ こ
此話何の事やと思っている 神の打ち分け場所急き込む

說這些話，你們想是什麼意思呢？神急著要建
造傳達神意的場所。

17

このみち ちよと み か こと せかい こころみないさ で
此道が一寸見え掛けた事ならば 世界の心皆勇み出る

如果能看出一點路的樣子來的話，世人的心也就會踴躍起來。

18

なに かみ ゆ ことしか き やしき そうじ だけ こと
何にても神の言う事確と聞け 屋敷の掃除出来た事なら

不論神說什麼事情都要確實地聽好，當宅院都清掃乾淨之後…

19

もう見える横目振る間も無い程に 夢見た様に埃散るぞ哉

日子就要來臨了，在左顧右盼都來不及時，如作夢般，灰塵就消失不見了。

20

此埃すきやか払た事ならば 後は万の救け一条

這灰塵要是徹底地清除掉的話，之後就是全心去拯救一切事情。

21

このさき だんだんつと せ こ よろずたす もよう
此先は段々勤め急き込んで 万救けの模様ばかりを

接下來會慢慢地催促你們奉行聖舞，這都是爲
拯救一切而作準備。

22

せかいじゅう どこ あ いた しょ かみ みちお てび し
世界中何処が悪しきや痛み処 神の道教せ手引き知らずに

世界上哪裡有不舒服及病痛？你們不知道，這
些都是神的教導、在引導你們。

23

このよう やまい ゆ な ほど み うちさわ みな しやん
此世に病と言うて無い程に 身の内障り皆思案せよ

這個世上沒有所謂的生病，身體上若有任何的毛病都要去思量啊。

24

にちにち かみ せ こ このたす みないちれつ なん おも
日々に神の急き込み此救け 皆一列は何と思てる

神每天都急著要施行拯救，對此世人是怎麼想的呢？

25

たかやま いけ わ みず でばな にご ごもくまじ
高山のお池に湧いた水なれど 出端は濁り 芥混りで

高山上的水池裡湧出來的水，剛湧出來時總是夾雜著混濁的污物。

26

だんだん こころしず しやん す みず かわ く や
段々と心静めて思案する 澄んだる水と変り来るぞ哉

慢慢地，內心沉靜下來思考，水就變得清澈了呀。

27

やまなか みず なか い こ いか みず す ことなり
山中の水の中いに入り込んで 如何なる水も澄ます事也

進到山裡，到湧水的水池去，不論什麼水都會
變得清澈。

28

にちにち ころつく そのかた むね おさ すえ たの
日々に心尽する其方は 胸を治めよ末は頼もし

每天爲神盡心盡力的人，把心定下來，將來的
路必會一帆風順。

29

これ たかやま いけ と はい いか ごもく そうじ なり
此からは高山池い飛び入り 如何な芥も掃除する也

現在起要到高山去、跳到水池裡，任何有灰塵的地方都要去清掃。

30

ごもく だ あと みず す なり
芥さいすきやか出してしもたなら 後なる水は澄んである也

當灰塵徹底清除掉以後，水就變得清澈了呀。

31

此^{これ}からは唐^{から}と日本^{にほん}の話^{はなし}する 何^{なに}を言^ゆうとも分^{わか}り有^あるまい

現在要開始說迷徒和悟區的事情，但不管說什麼你們還是不會明白。

32

唐人^{とうじん}が日本^{にほん}の地^じい入^いり込^こんで 儘^{まま}にするのが神^{かみ}の立^り腹^{つぶく}

迷徒進到悟區的境地裡恣意而爲，神感到相當生氣。

33

だんだん にほん たす もよう だ とうじん かみ まま なり
段々と日本救ける模様立て 唐人神の儘にする也

但漸漸地，神要爲拯救悟區做準備，使迷徒也能依從神意。

34

このさき から にほん わ これわか せかい おさ
此先は唐と日本を分けるでな 此分りたら世界治まる

今後要將迷者與悟者作區分，若能區分開來的話世界就會變得和平。

35

いままで かみ ところわか せかい なみ おも なり
 今迄は上たる心分らいで 世界並やと思ていた也

位居上位者一直到現在還不了解這些事情，以爲這條路和世俗之道沒什麼兩樣。

36

これ かみ たいない い こ ところすみ わ み
 此からは神が体内入り込んで 心速やか分けて見せるで

今後神要進入人的身體裡，馬上把心區分出來給你們看。

37

にちにち よ く ひと ことわ ゆ だんだん なお まあ
日々に寄り来る人に断りを 言えば段々尚も増すで

雖然每天都不讓前來的人參拜，但來的人還是漸漸在增加。

38

いか ほど おお ひと き なに あん かみ ひ う
如何程の多くの人が来たるとも 何も案じな神の引き受け

不論來多少人都不必擔心，會過來都是受到神的指引。

39

めづら　この　よ　はじ　かんろだい　これ　にほん　おさ　な
珍しい此世創めの甘露台　此が日本の治まりと成る

創造這個世界的可貴的甘露台，由此，悟區將會變得和平。

40

たかやま　ひい　みづ　み　たれ　めえ　これ　み
高山に火と水とが見えてある　誰が目にも此が見えんか

在高山上出現火水相爭的樣子，難道有誰沒看見嗎？

41

だんだん いか はなし と 段々と如何な話も説いてある たし こと み 確かな事が見えてあるから

什麼事情神都會一一說出，千真萬確的事神都能先預見。

42

しやわ よ よう じゅうぶん み つ く これ たの 幸せを良き様にとて十分に 身に付いて来る此を楽しめ

幸福美好的日子都已安排好了，期待它的到來吧。

43

なに か じょうよくつく そのうえ かみ りっぷく み く や
 何も彼も強欲尽し其上は 神の立腹見えて来るぞ哉

對什麼事都懷著強烈私欲的話，神生氣的模樣
 將會顯現出來。

44

だんだん じゅうごにち み か ぜん あく みなあらわ
 段々と十五日より見え掛ける 善と惡とは皆現れる

漸漸地，在十五日那天就會看見，善與惡都會
 顯現出來。

45

このはなし どこ こと ゆ み き みなとくしん
 此 話 何処の事とも言わんでな 見えて来たれば皆得心せ

這些話不是針對哪個地方所說的，看到了以後
 就會全部明白。

46

たかやま にほん もの とうじん わ もよう これ はしら や
 高山の日本の者と唐人と 分ける模様も此も 柱 哉

將高山上的悟者與迷徒區分開來，這樣的準備
 也是由此甘露台來完成的啊。

とうじん　にほん　もの　わ　　ひい　みず　　い　　わ
唐人と日本の者と分けるのは　火と水とを入れて分けるで

爲了區分出迷徒與悟者，將會用火與水來作區
分。